

67

NAGAI LEBEN

第67期報告書

平成27年9月1日から平成28年8月31日まで

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ

これからも小さな違いに目を向けて。



代表取締役社長
澤登 一郎

一世紀にもわたる私たちの歩みは人を守る人とともに歩む歴史でもありました。「いのちの力になりたい」を理念に、たゆまぬ企業革新による生産から販売までの一貫した経営システムによって白衣に特化した文化を育んできました。その源には、いのちに一番近い健康・医療・看護・介護、その現場を生きる医療従事者に寄り添い、ともに歩んでいるからこそ見えて来る小さな「違い」があります。企業活動の様々な分野で見落としがちな、この「違い」に、私たちが目を向けられるのは、いのちの声に敏感であることに他なりません。たとえ一着の、白衣の小さなボタンひとつであっても、この「違い」を見ることができるでしょう。私たちが常に時代の先駆けであり、リーディングカンパニーとして支持されてきたのは、この小さな発見を、確かな今につなげてきた結果でもあるのです。企業としての社会的責務と顧客からの信頼、時代に鍛えられた知識と経験を基盤とし、最先端の科学技術を駆使して製品を送り出します。視野は広く世界に向け、次の時代の発展を見据えたマーケティング活動を積極的に展開してまいります。これからも皆様のご期待にお応えできますよう、さらなる企業努力をもって業務に邁進いたします。今後も変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

次の時代を見据えた新商品を次々と。

二極化のもたらす問題は世界共通の課題です。わが国の医療ウェアを取り巻く環境も、使い捨てによる環境汚染、医療の高度化による医療格差など、様々な課題をかかえています。他社に先駆けて環境対策に取り組んだナガイレーベンの手術衣。今期は、未来を先取りした「医服内環境™」をご提案いたします。衣服を身体の医療内環境と捉え、医療・介護現場で求められる多様なニーズに科学・心理両面から徹底して追求。プロフェッショナル機能と快適さを一つにした画期的なウェアの誕生は、すでに高い関心が持たれ、各分野から熱い注目を集めています。また、高齢化社会を反映して、健康を願う人々の医療を広くとらえたニーズにも配慮。検診・予防などに適したウェアの研究・開発も積極的にすすめました。働きやすさはもとより、これまで安易に扱われがちだったスクラブにも、品位と誇りを加味。そこに付けられたゆりのエンブレムは上質の証であり、ナガイレーベンの責任と誇りを表しています。何よりもいのに関わる人の尊厳。その医療、看護、介護の信頼に格差があつてはならない。健康を願う誰にも信頼と夢を与えたい。ウェアにできることはまだまだある。それは一世紀にわたる私たちの歴史の歩みから得た、未来に向けての結論です。

Medical

未来を先取りした高機能商品「プロファンクション」。



人気のビタミンシリーズ。付加価値をさらに深化させた「Kiboh」。

New song[®]



スクラブにナースの誇りと上質さを、ゆりの紋章はナガイレーベン信頼の証です。

Beads Berry[®]



医療環境の変化とともに進化するホスピタリティーウェア、ビーズベリー。

連結業績ハイライト Business highlight

第67期決算の概要

売上高	165億円	前年同期比 2.4%増
売上総利益率	46.8%	前年同期比 0.2ポイント増
営業利益	49億円	前年同期比 2.9%増
当期純利益	32億円	前年同期比 1.1%増
総資産	388億円	前年同期比 1億円減
自己資本比率	88.8%	

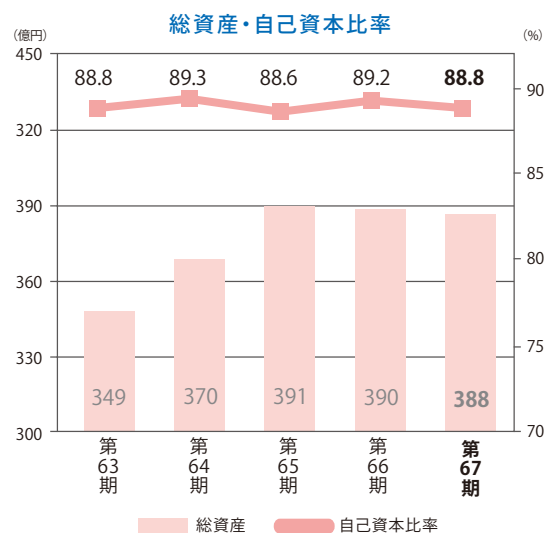
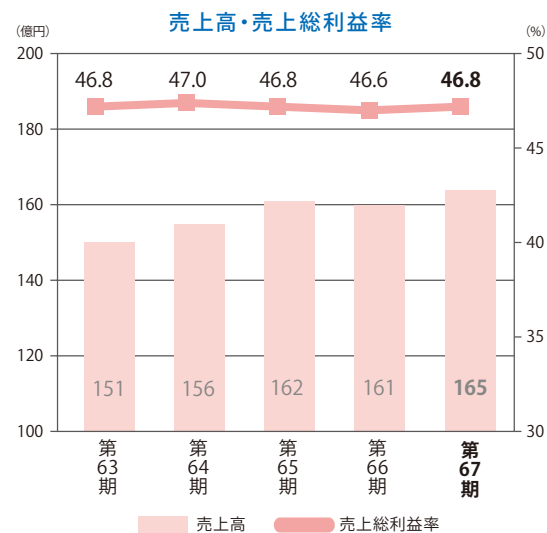
過去最高の売上高・営業利益を達成

医療・介護業界におきましては、診療報酬の改定が2016年4月に実施され、0.84%のマイナス改定となり、社会保障費全体の伸びを抑制する観点から、全体でのマイナス改定とはなったものの、診療報酬本体部分は0.49%プラスと地域包括ケアシステムの構築に向けプラス改定されたことは評価されるところであります。

当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェア及びドクターウェアの堅調な増収に加え、患者ウェアが引き続き好調に推移、また西日本地域での拡販が貢献し、当初計画を上回り、過去最高売上高となる165億37百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

生産に関しましては、原材料価格・加工賃の上昇は続く一方、円安は多少修正されたものの原価の上昇に歯止めがかからず、2月より商品の価格改定を一部行っております。また、海外生産シフト効果並びに新商品群の販売も好調に推移した結果、売上総利益率は46.8%(前年同期比0.2ポイント増)となりました。

主な経営指標



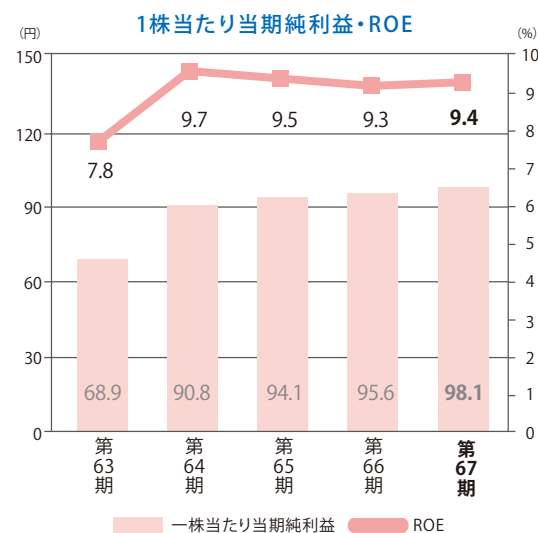
来期の業績見通し

売上高	170億円	前年同期比 2.8%増
営業利益	51億円	前年同期比 3.1%増
当期純利益	35億円	前年同期比 8.2%増

次期の見通しにつきましては、中国経済の減速、不安定な欧州と中東情勢の影響等により、国内経済の先行きの不透明感は継続するものと見られ、楽観できない状況で推移するものと思われます。

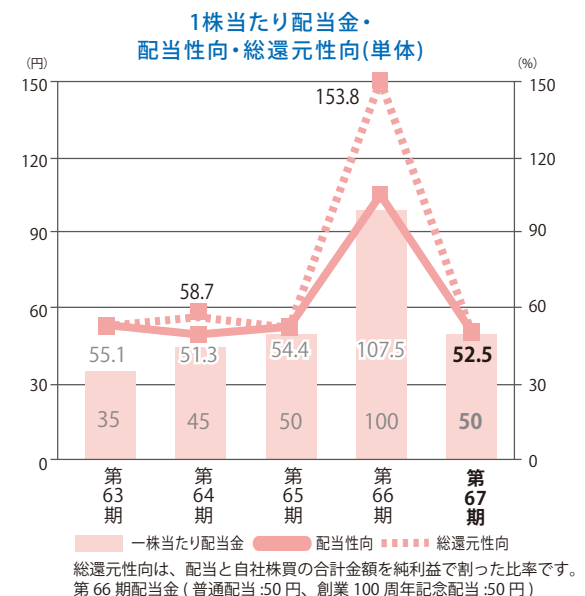
当社グループといたしましては、各市場への高機能・高感性の付加価値新商品群の投入により市場活性化とともにシェアアップを図り、各地域ともに増収を計画、連続して過去最高の売上達成を目指してまいります。

国内の人手不足に対応すべく賃上げを実施し優良人材確保を行うことで、QR体制の強化と小ロット多品種生産への対応力の強化を図ってまいります。また引き続き海外への生産シフトの推進及びインドネシア中部ジャワに移管した新規海外生産拠点の生産性の向上と品質の安定化を図ってまいります。



当面の経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略
● 看護・介護等コア市場の深耕
● 患者・手術等周辺市場の拡大
● 新市場の開拓
安定供給に向けた生産戦略
● 国内生産体制の強化(賃上げ対応)
● 素材メーカー・商社との取り組み強化
● QR・小ロット多品種生産への対応力強化
収益力安定に向けた戦略
● 国内生産から海外生産へのシフト
● EPA・FTAの優遇税制の活用
● 商品価格改定による事業収益性の確保



Financial statement

貸借対照表

科 目	前期末	当期末
	平成27年8月31日	平成28年8月31日
(資産の部)		
流動資産	29,711	29,083
固定資産	9,296	9,774
資産合計	39,008	38,857
(負債の部)		
流動負債	3,261	3,371
固定負債	951	983
負債合計	4,213	4,355
(純資産の部)		
株主資本	34,422	34,359
その他の包括利益累計額	372	142
純資産合計	34,795	34,501
負債純資産合計	39,008	38,857
1株当たり純資産	1,046円58銭	1,037円76銭

株主資本等変動計算書

科 目	前期末	当期末
	平成27年8月31日	平成28年8月31日
株主資本合計(期首残高)	34,450	34,422
会計方針の変更による累積等影響額	△42	—
当期変動額	13	△62
株主資本合計(期末残高)	34,422	34,359

(平成28年8月31日現在)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、有価証券15億18百万円の減少、現金及び預金8億30百万円の増加、受取手形及び売掛金1億77百万円の増加により、前期比6億28百万円の減少となりました。

Point

固定資産は、長期預金の預入などで、前期比4億77百万円の増加となりました。

Point

資産合計は前期比1億51百万円の減少となりました。

Point

株主資本は前期比62百万円減少いたしました。株主還元として、33億24百万円(創業100周年の記念配当を含む)の配当金の支払を実施いたしました。

損益計算書

科 目	前期末	当期末
	平成27年8月31日	平成28年8月31日
売上高	16,150	16,537
売上原価	8,617	8,802
売上総利益	7,532	7,735
販売費及び一般管理費	2,719	2,784
営業利益	4,813	4,950
営業外収益	331	94
営業外費用	56	108
経常利益	5,088	4,937
特別利益	30	1
特別損失	3	3
税金等調整前当期純利益	5,115	4,934
法人税等	1,889	1,672
当期純利益	3,225	3,262
1株当たり当期純利益	95円64銭	98円12銭

Point

過去最高の売上高を達成しました。売上総利益率は、46.8%となり、前期より0.2ポイント向上しました。

Point

前期は、外貨預金の為替差益2億26百万円がありましたが、当期は70百万円の為替差損を計上しました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは35億65百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出(20億円)などがありました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(33億24百万円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は67億4百万円となりました。

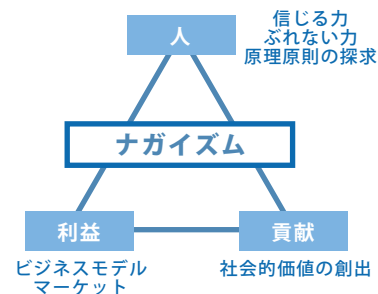
キャッシュ・フロー計算書

科 目	前期末	当期末
	平成27年8月31日	平成28年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,727	3,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	143	△1,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,211	△3,324
現金及び現金同等物の増減額	△179	△1,787
現金及び現金同等物の期首残高	8,671	8,491
現金及び現金同等物の期末残高	8,491	6,704

Our feature

1 ナガイズム：100年の時が醸成させた、ナガイレーベンの企業精神

「人」「利益」「貢献」の3本柱を軸とする、企業精神があり、それらを「ナガイズム」と称しています。「いのちの力になりたい」を目指し、それぞれの柱を大切にしながら、成長し続けています。



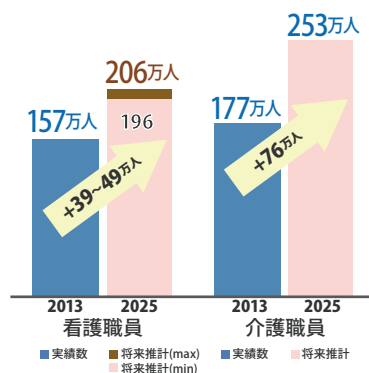
2 医療白衣メーカー専門として優位なポジションを確立

1915年の創業以来、メディカルウェア専門の製造販売メーカーとして事業活動を行っております。

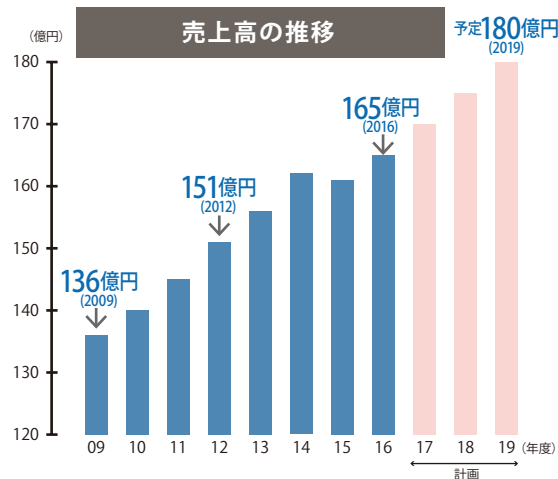
- ・国内シェア60%超のリーディングカンパニー
- ・年間600万着以上を供給
- ・企画から製造、販売までを一貫して行う
- ・数千種類にも及ぶ豊富なアイテム数、オーダーメイド対応など競争力のある商品

3 安定伸長する市場環境 着実・安定的な企業成長を目指して

日本国内の看護・介護の従事者数は、社会保障の拡充などもあり、安定的な増員が予想されています。今後も当社は、独自の企業精神「ナガイズム」を大切にしながら、医療・看護・介護市場に特化し、その周辺市場を広げ、医療従事者のみなさまにさらに歓迎される商品を提案し、より社会に貢献できる企業を目指してまいります。



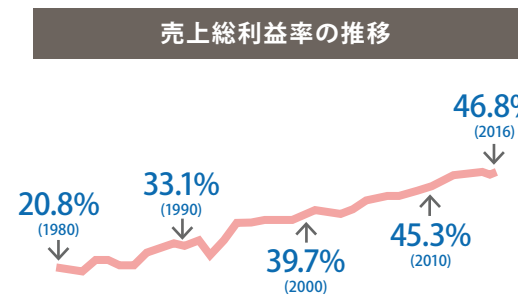
(出典)
看護職員
・日本看護協会「看護統計資料」
・厚労省「第一回看護職員需給見通しに関する検討会」資料より
介護職員
・厚労省「介護人材の確保について」
・厚労省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計について」



4 強固な収益体質と財務基盤

徹底的な効率化・原価低減を追求し、得られた収益をもとに、研究開発活動や生産拠点への投資を行い、白衣の商品価値のさらなる向上に努めています。

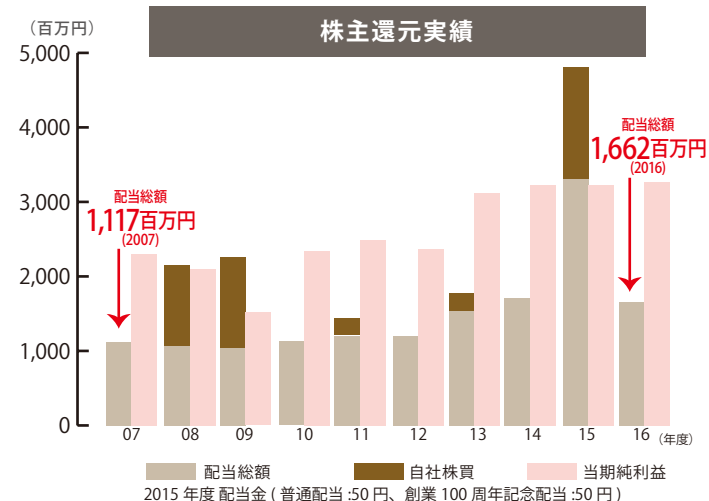
- ・売上総利益率 46.8%
- ・自己資本比率 88.8%
- ・ROE 9.4% (2016年8月期)



5 株式価値の向上 株主を重視した株主還元策

配当性向を純利益(単体)の5割程度とする方針とし、安定的な配当金額を継続し、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しています。今後も、企業価値の向上のための成長機会への再投資も考慮しつつ、株主のみなさまへの利益還元に努めてまいります。

- ・一株当たり純資産(BPS) 1,037.8円
- ・一株当たり当期純利益(EPS) 98.1円



6 社会的責任 豊かな社会の実現とその持続に貢献

生産拠点を通じた地域貢献

- ・国内：秋田県
- ・海外：中国、インドネシア、ベトナム

女性主役産業をサポート

- ・メディカル・縫製産業など女性が活躍できる場の創出

環境への取り組み

- ・ISO14001の取得(2005年)
- ・医療廃棄物を削減する「コンペルバック」

子どもたちへの支援

- あこがれの職業としての「医療」
- ・ミッフィー小児科病棟訪問
- ・医療機関へ子ども用白衣の貸し出し

会社概要 Corporate outline

商 号 ナガイレーベン株式会社 (平成28年11月25日現在)

本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号

設 立 昭和25年7月20日

資 本 金 1,925,273,475円

社 員 数 115人(グループ従業員数499人) (平成28年8月31日現在)

役 員 代表取締役社長 澤 登 一 郎

常務取締役 経営企画本部長 齊 藤 信 彦

取締役 業務本部長 朝 井 克 司

取締役 企画本部長 山 本 康 義

取締役 営業本部長 新 谷 欣 哉

取締役 管理本部長 徳 江 健 (新 任)

取締役 常勤監査等委員 荻 野 和 孝

社外取締役 監査等委員 城 見 浩 一

社外取締役 監査等委員 三 嶋 浩 太 (新 任)

当社は平成28年11月25日開催の第67期定時株主総会において、監査等委員会設置会社に移行いたしました。

平成28年11月25日開催の第67期定時株主総会終結の時をもって、次の取締役及び監査役が退任しております。

取締役 管理本部長 大 野 和 城

監査役 興 石 國 安

主な事業所 本社

ナガイレーベン物流センター

ナガイレーベン第2物流センター

ナガイレーベン西日本物流センター

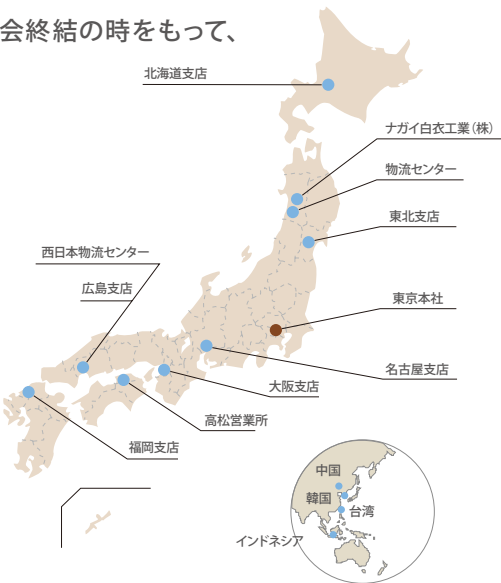
北海道支店 東北支店 名古屋支店

大阪支店 広島支店 福岡支店

高松営業所

台北支店

関係会社 ナガイ白衣工業株式会社



株式情報 Stock information

株式情報

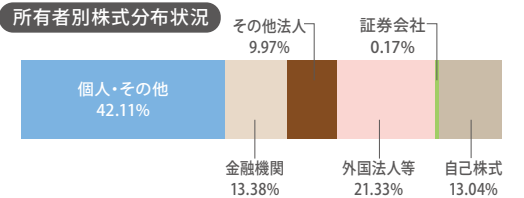
発行可能株式総数 100,000,000株

発行済株式総数 33,246,449株
(自己株式4,989,551株を除く)

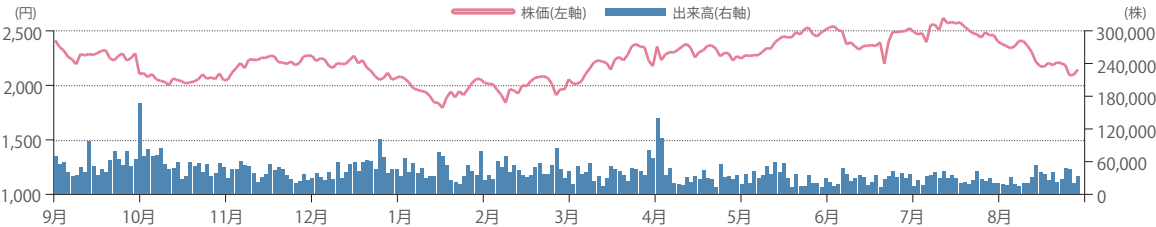
株 主 数 3,371名

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,766,300	17.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,163,209	9.5
有限会社登龍	1,350,300	4.1
澤登 辰郎	1,055,200	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,022,500	3.1
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	890,500	2.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	882,500	2.7
露口 誠	800,000	2.4
澤登 春江	623,600	1.9
株式会社安立	607,300	1.8

注1. 当社は、自己株式を4,989,551株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株価の推移



株主メモ

決 算 期 毎年8月31日

定 時 株 主 総 会 毎事業年度末の翌日から3か月以内

基 準 日 毎年8月31日

公 告 掲 載 方 法 電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載URL <http://www.nagaileben.co.jp/>

単 元 株 式 数 100株

銘 柄 コ ー ド 7447

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

同 事 務 取 扱 所 日本証券代行株式会社 本店
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

郵便物送付先・ 日本証券代行株式会社 代理人部
お 問 合 せ 先 〒168-8620
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話0120-707-843 (フリーダイヤル)

各 種 手 続 の お 申 出 先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。



本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

福岡支店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

高松営業所 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

台北支店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <http://www.nagaileben.co.jp>

いとなギャラリーホームページ <http://www.itona.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-EM4600
本社

※メディカル及びヘルスケア関連アパレル製品